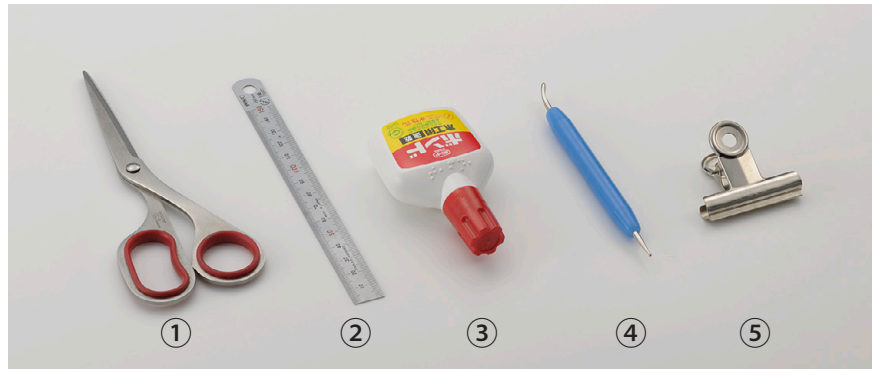


## 1.始める前に

### ■ 用意する道具・材料

- ①ハサミ
- ②定規
- ③接着剤  
(乳白色の木工用ボンドをお勧めします)
- ④鉄筆  
(インクのでなくなったボールペンでもよい)
- ⑤クリップ  
(のりが乾くまで押さえるのに使います)



※ここにあげた道具類はあくまでもひとつの例としてお考えください。



### 注意すること

- ハサミ等を使用する際には、指などを切らないように十分注意してください。
- ボンドやハサミを使用する際には、幼児の手の届かない所で作業してください。
- 接着剤を使用する際には、室内の換気を十分に行ってください。

## 2.つくりかたのコツ

### 各々のペーパークラフトの組み立て説明をよく読んで、丁寧に進めましょう。

- 台紙から各部品を切り離す前に、鉄筆で山折線(点線)や谷折線(一点差線)をなぞっておきます。  
こうしておくと、キレイに折ることができます。(極端に強くなぞると、紙が破けてしまうので注意してください)
- 部品の台紙から、各部品をおおまかに切り取ります。
- 後でどの部品かわからなくなることがないように、切り取った部品の裏に、えんぴつ等で薄く番号を書いておきます。
- 各部品は、丸みをつけるとうまく組みあがります。  
(机などの角を使って、部品に手を当ててしごく、紙に自然な丸みが出て、組み立てやすくなります)
- 接着剤は、つけすぎず、少なめに使うほうがきれいに仕上がります。  
(用紙の余白部分で適量を試みましょう)
- のりが乾いてから、次に進みましょう。
- プリント用紙は、ペーパークラフト用のプリント用紙をお使いください。  
(ある程度厚みのある紙を使用した方が、のりづけや組み立てが比較的容易になります。)

## 3.基本的な工作方法

### 山折り線



この部分は山折りにする。  
線と印刷面が山型になるように  
折り曲げる。

### 谷折り線



この部分は谷折りにする。  
線と印刷面が谷型になるように  
折り曲げる。

### 丸みをつける



紙をしごいて丸みをつける。

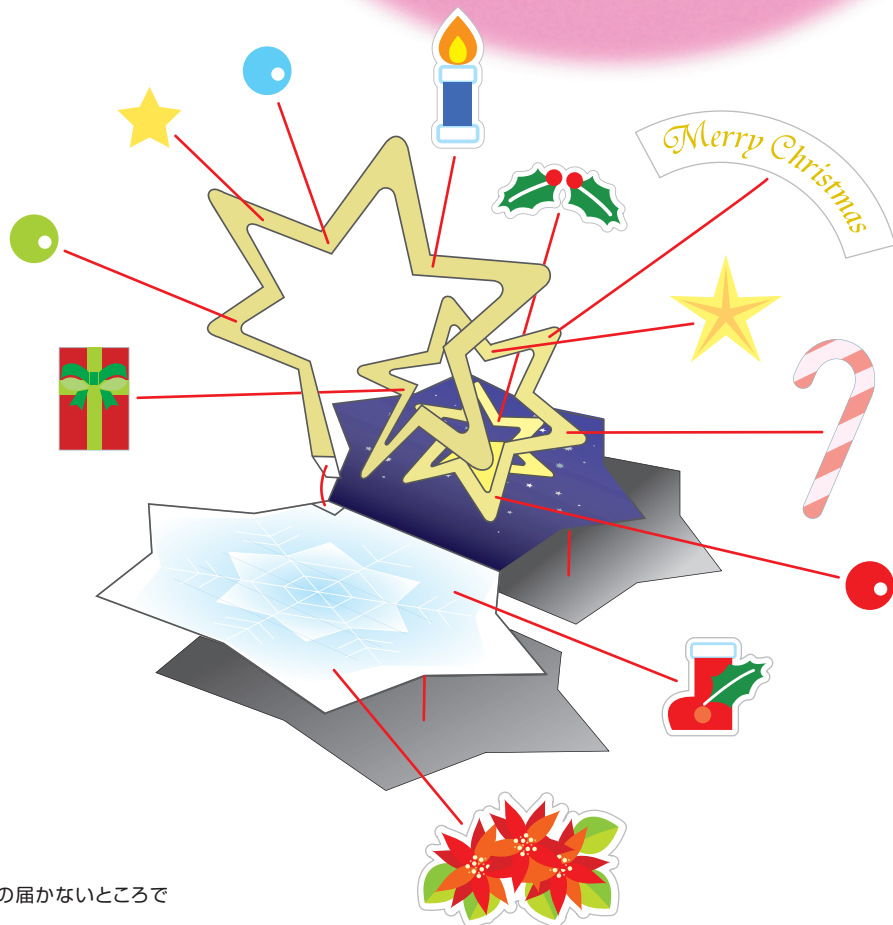
### 部品を組み立てる





のりが乾くのを待って次に進む  
(クリップを使って乾くのを  
待つのも良い)

# グリーティングカード

クリスマスや新年などの年中行事に合わせて、感謝の気持ちなどを表すために、友人や恋人など親しい人との間で交わされるカードの事です。日本でも、季節の挨拶状として使用されたり、贈り物に添付するメッセージカードとしても使用されています。



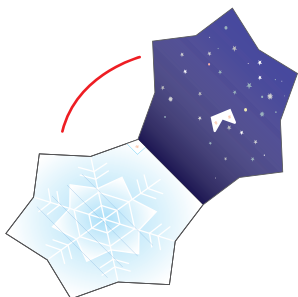
● 線の説明

- 山折り線 
- - - 谷折り線 
- 切り込み線
- 張り合わせ線

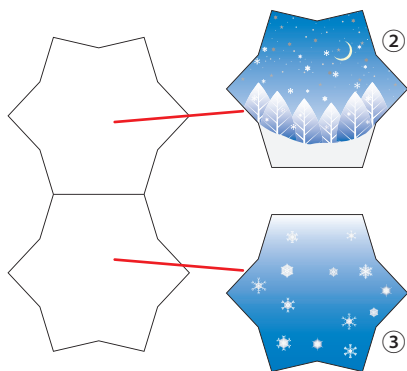
- ▲ はさみやのりは幼児の手の届かないところで使用してください。
- ▲ はさみ等で怪我をしないよう注意してください。

**本体を作る**

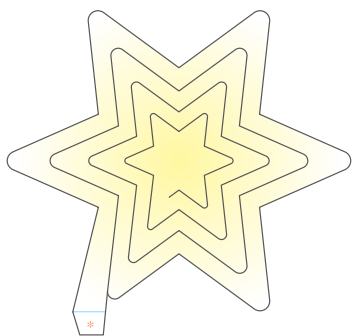
**1.**  
①を切りぬき、折り線の部分を折ります。



**2.**  
②と③を切りぬき、①の裏面にはり合わせます。



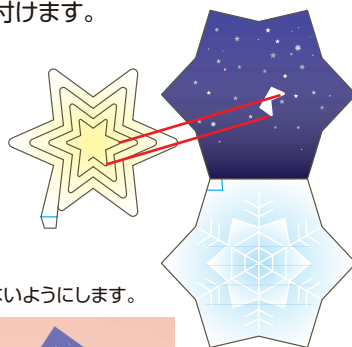
**3.**  
④を切りぬき、切り込み線にそって切り込みを入れます。



丁寧に切り込みを入れてゆきます。



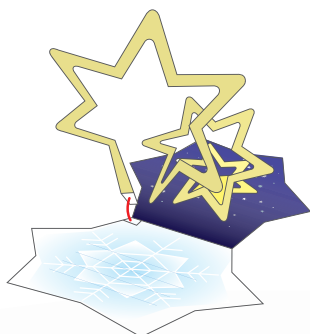
**4.**  
図のように④の一番中央の部分を、①の上側ののりしろに合わせて取り付けます。



ずれないようにします。



**5.**  
④の外側にあるのりしろを、①の下側ののりしろに合わせて取り付けます。



**飾りを付ける**

**6.**  
好きなアイテムを選んで切りぬき、取り付けます。



自分だけのグリーティングカードのできあがりです。

**封筒を作る**

**7.**  
⑤⑥を切りぬき、折り線の部分を折り、組み合わせます。

